

平成23年度の事業報告書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

特定非営利活動法人 シンビオ社会研究会

1 事業の成果

社会啓発事業として当会会員および一般社会に公開のシンビオ講演会を3回開催し、それぞれ多数参加者があった。またヒューマンインタフェース学会研究談話会の協力および今年度より応用科学研究所と共同で研究談話会を3回開催した。

また、平成23年8月21日～25日に、韓国・大田市で開催の国際会議ICI2011に共催団体として協力した。8月29日京都大学での京都大学エネルギー科学GCOEとハルピン工程大学の交流のためのGCOEエネルギーセミナー実施に協力した。次いで8月30日日中両国の共生型エネルギーシステム研究の情報交流のためハルピン工程大学の訪問団と共に京都大学にてシンビオ国際ワークショップを主催し、その後はハルピン工程大学訪問団の岡山大学自然科学研究科および京都大学原子炉実験所訪問に協力した。平成23年に中国ハルピン工程大学への支援により開始した原子力安全とシミュレーション技術に関する国際学術雑誌 International Journal of Nuclear Safety and Simulation (IJNS) の刊行を継続した。

その他、ニュースレター2回発行した。

以上の活動成果は本会のホームページを通じて公開し、常に社会一般に発信している。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(単位:千円)
共生社会のヒューマンインタフェースに関する研究会開催	<u>研究談話会No.1</u> 「機械部品の熱処理と材料の選択」について講演と討論	(A)2011/6/21 (B)応用科学研究所 (C)6名	(D)当会と応用科学研究所とで構成する研究談話会の会員 (E)21名	51
	<u>研究談話会No.2</u> 「福島第一原子力発電所事故以降の世論の動向」について講演と討論	(A)2011/10/19 (B)応用科学研究所 (C)6名	(D)当会と応用科学研究所とで構成する研究談話会の会員 (E)11名	54

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の 金額(単位: 千円)
	<u>研究談話会「視線とインタラク ション」</u> ヒューマンインタフェース学 会コミュニケーション支援専 門委員会主催の研究会に協力 <u>研究談話会No. 3</u> 「福島原子力事故を考慮した 日本、中国とアメリカにおけ る将来電力システムのシナリ オ分析」について講演と討論	(A) 2011/10/28 (B) 関西学院大学 梅田キャンパス (C) 6名 (A) 2012/2/27 (B) 応用科学研究所 (C) 6名	(D) ヒューマ ンインタフ ェース学会 会員と当会 会員 (E) 26名 (D) 当会と応 用科学研究所 とで構成 する研究談 話会の会員 (E) 13名	30 59
共生社会のヒ ューマンイン タフェースに 関するシンポ ジウムの開催	<u>シンビオ講演会 I</u> レアアースとトリウム資源に 関する講演 1件	(A) 2011/4/28 (B) 応用科学研究所 (C) 4名	(D) 本会会員 および一般 (E) 21名	133
	<u>シンビオ講演会 II</u> 黄檗会との共催による関東 地区講演会。東アジア地域天 然ガス・電力パイプライン構 想に関する講演 1件	(A) 2011/11/25 (B) 京都大学東京オ フィス (C) 6名	(D) 本会会員 および一般 (E) 18名	87
	<u>シンビオ講演会「エネルギー・ 環境問題の国際動向を考え る」</u> 関西原子力懇談会、原子力学 会・関西支部との共催。 福島事故後の海外原子力動向 および日本のエネルギーシナ リオに関する講演 2件	(A) 2012/3/9 (B) 大阪科学技術セ ンター (C) 8名	(D) 共催団体 の会員及び 広く一般市 民も対象 (E) 120名	223
共生社会のヒ ューマンイン ターフェース に関する研究 調査	<u>国際ジャーナル発行</u> 中国ハルピン工程大学との 共同による季刊誌国際ジャ ーナル I J N S Vol. 2、No. 2、3、4の刊行	(A) 2011年度 中 (B) 事務所、出張先 など (C) 4名	(D) 世界の原 子力安全・シ ミュレーション 技術に関する 研究者・技 術者・学生一 般 (E) 不定	2,674
	<u>自主研究調査</u> 学会講演会参加、図書資料購 入など	(A) 2011年度 中 (B) 事務所、出張先 など (C) 2名	(D) 一般 (E) 不定	38

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の 金額(単位: 千円)
共生社会のヒューマンインタフェースに関する国際会議	<u>国際会議 I C I 2 0 1 1 への協力</u> 韓国・大田市での開催に共催団体として協力 参加12ヶ国 招待講演6件、一般発表98件	(A)2011/8/21～25 (B)韓国・大田 コンベンションセンター (C)8名	(D)世界の原子力工学に関する研究者・技術者・学生一般 (E)120名	9
	<u>GCOEエネルギーセミナー</u> 京都大学エネルギー科学GCOEとハルピン工程大学院核科学工程院によるセミナー実施に協力 講演4件	(A)2011/8/29 (B)京都大学 工学部2号館 (C)6名	(D)エネルギー科学に関する教育研究者・学生一般 (E)30名	75
	<u>シンビオ国際ワークショップ 2011</u> マルチレベルブローモデルに関する発表4件、福島事故後の共生型エネルギーシステム創生に関する萌芽研究の発表5件および総合討論	(A)2011/8/30 (B)京都大学百周年時計台記念館 (C)4名	(D)エネルギー科学に関する教育研究者・学生一般 (E)20名	130
	<u>ハルピン工程大学訪問団の岡山大学および京都大学原子炉実験所への施設訪問の案内</u>	(A)2011/8/31～9/1 (B)岡山大学、熊取 (C)3名	(D)ハルピン工程大学・岡山大学・京都大学の関係者 (E)約20名	0
	<u>次年度開催予定の国際会議企画への協力</u> STSS2012のホームページ開設協力、ISSNP2012企画協力など	(A)2012年に予定 (B)事務所および中国 (C)2名	(D)世界の関連研究者・技術者・学生 (E)不定	192
共生社会のヒューマンインタフェースに関する広報活動	<u>ニュースレターの発行</u> No.7編集と印刷	(A)2011/6月中 (B)事務所 (C)4名	(D)当会会員及び一般市民 (E)不定	65
	No.8編集と印刷	(A)2011/11月中 (B)事務所 (C)4名	(D)当会会員及び一般市民 (E)不定	113